

## 第5回川越市介護保険事業計画等審議会 次第

日 時：令和7年8月19日（火）

午後2時～

場 所：川越市医師会館4階講堂

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 報 告

- (1) 第4回川越市介護保険事業計画等審議会について……………資料1  
資料2

### 4 議 事

- (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について……………資料3
- (2) 保健・福祉等実態調査について……………資料4

### 5 そ の 他

- (1) 今後のスケジュールについて……………参考資料

### 6 閉 会

## 会 議 要 旨

会議の名称	第4回川越市介護保険事業計画等審議会
開催日時	令和7年5月26日(月) 14時00分 開会 ・ 15時45分 閉会
開催場所	川越市医師会館 4階講堂A～C
議長	齊藤正身会長
出席委員 (15名)	中野委員、牛窪委員、高橋委員、柴崎委員、川越委員、 西村委員、平島委員、山崎委員、益子委員、阿久澤委員、 長峰委員、村田委員、鈴木委員、中原委員、横堀委員
欠席委員 (6名)	小林範子委員、池浜委員、田畑委員、後藤委員、宮根委員 小林松十郎委員
事務局職員	福祉部 新井部長 高齢者いきがい課 三佐崎参事、宮澤副課長 介護保険課 中村課長、新井副課長、 長澤主幹、君島副主幹、 健康づくり支援課 千葉課長、松百副主幹 地域包括ケア推進課 富田参事、神立副課長、内藤主幹、 小沼副主幹、丸山主査、望月主任
配布資料	○第4回川越市介護保険事業計画等審議会 次第 ○【資料1】第3回川越市介護保険事業計画等審議会(会議要旨) ○【資料2】すこやかプラン・川越(高齢者保健福祉計画・第9期 川越市介護保険事業計画)事業評価シート ○【資料3】第10期計画策定に向けた各調査について ○【資料3-①】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ○【資料3-②】在宅介護実態調査 ○【資料3-③】在宅生活改善調査 ○【資料3-④】居宅介護支援事業所実態調査 ○【資料3-⑤】介護サービス事業所実態調査 ○【参考資料】すこやかプラン・川越(川越市高齢者保健福祉計 画・第10期川越市介護保険事業計画)策定スケジュール  当日配布資料 ○名簿 ○【冊子】高齢者自身が主体的に生活できるよう支援するガイドブ ック ○【チラシ】歯ッピーフェスティバル2025

議 事 の 経 過	
	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 齊藤会長よりあいさつ</p> <p>3 報 告 (1) 第3回川越市介護保険事業計画等審議会について 【資料1】を基に事務局より報告</p>
会長	<p>事務局からの報告に対して意見はあるか。 (意見等なし)</p> <p>(2) 第9期計画(令和6年度)の進捗状況について 【資料2】を基に事務局より報告</p>
会長	事務局からの報告に対して意見はあるか。
委員	Iの1、C評価が、著しく達成率が低い状況にある。その原因は何か、また今後の達成に至る見通しについて伺いたい。
事務局	<p>達成率が低い状況について、この事業に関しては情報機器端末、具体的にはスマートフォンなどにアプリを導入し、登録者を増加させる政策であると認識している。しかし、現状ではアプリの導入に関して内部での結論が出ていないため、現在の523人という数字は機器を導入せず、ポイントを手帳に付与するボランティアポイントのみの事業実績となっている。そのため、目標との乖離が生じている状況である。</p> <p>現在は介護事業所や障害者事業所、地域包括支援センターが運営しているオレンジカフェにおいて、ボランティア活動を行った方にポイントを付与しているが、受入機関の拡大や健康づくりの観点から、ラジオ体操を実施しているグループに対しても、介護予防の一環としてポイントを付与することも検討したいと考えている。</p> <p>情報機器端末については、歩数計機能や脳トレ機能を搭載した複数のアプリがあり、埼玉県でもコバトンに関連する事業や様々な脳トレアプリが無料で簡単にダウンロードできる点を踏まえ、市として本当にそのアプリが必要かどうかを関係課と慎重に検討したいと考えている。</p>

委員	ラジオ体操を対象範囲にするのは非常に良いと思うので、今後とも検討をお願いします。
委員	<p>A評価の認知症サポーター養成講座の受講回数と受講者数の増加は素晴らしいと思う。ただ、受講者が実際にどのような場面で活躍しているか、例えば（店舗の）セルフレジでナビ担当を配置することについて、現場での状況を教えてほしい。</p> <p>在宅高齢者配食サービスもA評価だが、安否確認や食生活に効果的な一方、栄養の改善に対する評価基準や改善基準が設けられているのか疑問に思う。今、物価が上がっている中で、他の自治体では1週間のサービス回数が4回から3回になるとか、1食50円か30円ぐらい上がったとか聞かすが、川越市は今年度や来年度も予算通りに1食500円、週4回の現状維持でいけそうなのかの見込みについて具体的に教えてほしい。</p>
事務局	現状、認知症サポーターの方々は、地域の見守り隊として活動している。オレンジカフェで見守り活動を行っていることがある。計画には、レジに認知症サポーターを配置するという提案もあるが、現在、企業との連携も含めて、その効果がどの程度あるのかについて、地域包括支援センターに配置されている地域認知症支援推進員の方々と共に、認知症のある方の買い物支援について具体的な検討を進めているところである。
事務局	配食サービスについて、栄養の改善に関する指標や基準については、特に設けていない。しかし、対象者の方が高血圧などの健康状態にある場合は、塩分を抑えた食事の注文が可能である。そのため、こうしたニーズに応じた対応を図っている状況である。
委員	全体的な感想だが、従来は実施できていないという評価が多かった。しかし、今回は83%が順調とのことで、以前は参加が困難な時期があったことが分かる。特にコロナの影響が大きかったと思う。コロナがなければ来年度の参加者数や実績も順調に伸びるという考えか。今回の実施内容から成果が見られ、さらに来期の予定も理解でき、良い方向に行っているので安心している。皆さんの努力の成果だ。何か工夫してこうなったのか教えてもらいたい。また、評価項目について、達成したことだけでなく、その目的から今後の取り組みや新たな取り組みについても教えていただければと思う。
事務局	コロナがなければ参加者も増えていくのかという点や工夫について、川越市では地域包括支援センターを中心に、住民の方々の声をしっかりと聞きながら、また、社協など様々な機関の専門職と顔の見える関係を構築していることにより、様々な方法で周知が可能になってきている。また、市役

<p>会長</p>	<p>所内でも健康づくり支援課や高齢障害医療課との連携が活発になってきたため、その影響もあるのではないかと思います。さらに、地域の高齢者の方々も通いの場に期待を抱いているようなので、関係者みんなで後押ししているという点が、工夫の一因と感じている。</p> <p>あくまで今回の事業評価は、第9計画の3年間の事業指標に基づいているので、新たな取り組みについては、3年間の結果を踏まえて、皆さんと議論を進めていければと考えている。</p> <p>新たな取り組みなどは、この審議会がその役割を担っていると思うので、行政からだけでなく、皆さんからも多様な新しい提案が出てくると良いと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど、認知症の方のサポーターについて話があったが、行政の支援が最初に必要である。しかし、単に養成し続けることが目的ではなく、養成を行った人々が活躍することが次のステージになる。活躍の結果、例えば本人やその家族にどのような影響が及ぼされたのかが、最終的なゴールとなる。したがって、指標は必ずしも同じレベルを維持するものではない。意識レベルや行動レベルがどのように変化したのか、本人や家族にどのような影響を与えたのか、その観点で徐々に変わっていくものが指標として考えられるべきである。このため、10期計画以降は、単に参加したかどうかという指標ではなく、次のレベルに到達するような指標に変更していく必要があると考える。</p>
<p>会長</p>	<p>次の10期で新たな指標が生まれ、一步前に進むことになる。それが結果的に審議会で話し合われた成果に繋がるかもしれない。</p> <p>4 議 事</p> <p>(1) 第10期計画策定に向けた各調査について</p> <p>【資料3】を基に事務局より説明</p>
<p>会長</p>	<p>事務局からの説明に対して意見はあるか。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査</p> <p>【資料3-①】を基に事務局より説明</p>
<p>会長</p>	<p>特に調査項目で何か方向性や川越の特徴というのはあるか。</p>

事務局	<p>具体的な項目は、次回の審議会で示したいと考えている。先ほど説明した調査の狙いに基づき、主観的幸福感に関して、要因を特定し分析していく。また、国の認知症基本計画における重点目標に沿った項目を設定したいと考えている。</p>
会長	<p>サポーター養成講座を知っているかを調査項目で聞くなど、上手く宣伝する方法もあるかもしれない。</p> <p>この方針で具体的な内容が出てきてから、議論いただくということでもよろしいか。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>②在宅介護実態調査 【資料3-②】を基に事務局より説明</p>
会長	<p>認定調査員は、調査が1時間かかるので大変だと思う。まだ、調査までには時間があるので、引き続き内容をよく見ておいていただき、何か気になることがあれば事務局に伝えてほしい。</p> <p>事務局からの説明に対して意見はあるか。</p>
委員	<p>認定調査員による聞き取り調査ということだが、ここでいう認定調査員とは、どのような活動をしているのか。</p>
会長	<p>介護度を決めるときの要介護認定の調査を行う調査員のことである。</p>
委員	<p>調査員は、全体で何人ほどいるのか。</p>
事務局	<p>本調査は市の職員、会計年度任用職員の調査員が9名、正規職員が3名おり、合計で12名での実施を考えている。</p> <p>③在宅生活改善調査 【資料3-③】を基に事務局より説明</p>
会長	<p>調査対象は、92事業所のケアマネジャーか。</p>
事務局	<p>事業所のケアマネジャーになる。</p>
会長	<p>地域包括支援センター9ヶ所のケアマネジャーや主任ケアマネジャーも調査対象か。</p>
事務局	<p>利用者を持っているケアマネジャー全員に聞く調査である。</p>

会長	全てのケアマネジャーの数は非常に多いので大変な仕事だと思う。全てのケアマネジャーは何人なのか。
事務局	今、把握していない。
会長	相当な数になると思うが、全てを実施することはできるのか。
委員	居宅介護支援事業所の場合、ケアマネジャーは平均して2人から3人程度であり、90ヶ所で考えると、百数十人から300人のケアマネジャーがいることになる。また、そのケアマネジャーが持っている利用者が35人ぐらいで、このうち20人について個別の回答をもらう。つまり、約300人のケアマネジャーが持つ20人の利用者、約6000人になる。
会長	ケアマネジャーが多い5人や6人いる事業所では全員が対応するのか。
委員	全員である。全員に聞かないと、逆に全体のバイアスがかかり、全体像が見えなくなってしまう。
会長	全てのケアマネジャーとなると、地域包括支援センターも含まれる。数は、確認をお願いしたい。かなり細かい内容になると思うので、対象者から協力がしっかり得られるようにお願いしたい。
委員	ケアマネジャー（が受け持つことができる人数）の最大の数が、昨年度から増えており、現在は35名を担当しているが、その中から20人とのこと。細かく問3のところ、末尾の下1桁が偶数の利用者が20名を超える場合は、さらにその末尾の下3桁の数字の小さい順に20名と書いてあるが、詳細を教えていただければ、私どもも安心してアンケートに答えられると考えている。若しくは、説明会などがあれば、その際に教えてもらいたい。
事務局	1人のケアマネジャーが担当する利用者について、まず被保険者番号の末尾が偶数の方を対象としている。この場合、担当しているケアマネジャーが1人または2人であっても、全てのケアマネジャーに適用される抽出方法となる。また、前回調査では、現行のサービスで在宅生活の維持が困難な方について回答をいただいたが、今回は逆に現行のサービスを維持できている事例の把握も必要と判断し、全ての方に回答をお願いする。適切な抽出条件がなければ全ての利用者から回答をいただくことになり、非常な負担となってしまうため、今回このような抽出条件を設けさせていただいた。具体的には末尾1桁が偶数の利用者を抽出し、20人を超える場合に

	<p>は、被保険者番号が長いため、末尾下3桁の数字が小さい順に最大20人を抽出する方法を採用している。運営基準上、1人のケアマネジャーが担当できる利用者の上限は49人となっており、全員から回答をいただく場合は、かなりの負担と考えている。さらに、回答の一部について不足があった点もあるが、例えば2人のケアマネジャーが2人の利用者を担当し、その2人とも被保険者番号が奇数であった場合、該当なしとなる。この場合、1人も回答しなくて良い扱いになるので、該当なしという回答欄を設ける必要があると思う。</p>
委員	<p>1人のケアマネジャーが担当する利用者は、大体35名程である。利用者の内訳も偶数と奇数でおおよそ半々となっており、40人以上の利用者を持つ方に限られている。他の方は20人以下、ほとんどが20人程度。最大で49人の利用者がある場合でも、難しくせずに、とにかく偶数の利用者だけをピックアップしてくださいと、はっきり言った方が良いと思う。49人の場合でも、偶数であっても25人ぐらいなので、数人増えるかどうかだけの人が、数人のケアマネジャーがいるだけの話である。</p>
会長	<p>もう少し分かりやすくしないと、説明会を開催しなければならなくなる。どの人を調査するかを明確にした方が良い。</p>
事務局	<p>検討する。</p> <p>④居宅介護支援事業所実態調査 【資料3-④】を基に事務局より説明</p> <p>事務局からの説明に対して意見はあるか。 (意見等なし)</p> <p>⑤介護サービス事業所実態調査 【資料3-⑤】を基に事務局より説明</p>
委員	<p>調査票の中に職員票があるが、事業所の管理者から職員に配布するという ことでよいか。また、配布は誰でもよいか。</p>
事務局	<p>全ての職員に回答をお願いします。</p>
会長	<p>調査数がかかなり多く、頭が混乱してしまう。また、7月と8月は休みを取っている時期でもあり時期的に厳しいので、調査が減ると良いと思っている。その方向で進めることで承認いただけるか。</p>

委員	今回の資料では、検討すべき項目がはっきりしなかった。新規の項目についての考え方や、今回説明された内容をピックアップし、より分かりやすいものにして色を付けていただけると、何を検討すべきなのかがはっきりすると思う。今お聞きしたところでは、会長も言われたように頭がこんがらがってしまい、こういうことを考えられているのだなといった整理ができていない。
会長	今日は全部の調査の説明だったので、私達も聞いていて少し混乱するところもある。調査を受ける人は全体ではなく各々の項目なので、各回答者が分かりやすく回答できるように工夫してもらおう方向でお願いします。
委員	この3つの調査案については、市独自の調査が挙げられているが、市独自の調査について内容が分からないためお伺いしたい。また、新設について、生活改善調査が10件、事業所実態調査が5件、介護サービス事業所調査が22件ある。これはそのシートの内容に関するものか。
事務局	資料3-③在宅生活改善調査から⑤介護サービス事業所実態調査について、ビジョンや検討事項と併せて、市独自で調査するものと、市の実情に基づいて独自調査するものとなっている。
委員	新設について、もう一度説明してほしい。
副会長	問22ではなく、22項目の新設があるという質問だと思う。これまでの調査では、問題点や具体的な課題を特定するのが不十分だったため、今回新たにこの新設が追加されると理解している。たとえば、介護サービス事業所実態調査項目の8ページにある問7は新設項目で、在籍年数を尋ねることで、何年目の方がどのような理由で退職されるかを明らかにできる。これにより、今後の対策につながりやすくなるのではないかと考えられる。このような理解でよろしいか。
事務局	その通りである。
委員	新設項目の中に、「自由に記入してください」という欄があるが、この部分のデータの取り方はどうなるのか。
会長	どういう意見があったかを具体的な例を挙げるという意味である。このような調査では、自由記入欄があった方が良いと思う。
委員	調査案に新設された設問が多くある。これは前回まで調査項目としていたものが今回削除されたための新設なのか。それとも単純に増設ということ

	<p>なのか教えていただきたい。また、我々は回答する立場にないため分からないが、実際に現場で回答する側の負担感ほどの程度なのか。増設されたことによって、事業のためにより精度の高い調査結果を得たいという意図は当然理解しているが、回答者の負担感についてはどう考えているのかをお聞きしたい。</p>
事務局	<p>施設の整備基盤や人材確保に向けて、より良い現状に向けて調べる調査であり、これに合わせて新設と削除をした。</p> <p>設問の増設により、回答者には一時的な負担にはなるが、本調査を踏まえ次期計画を策定していくため、将来的な支援に繋がると考えている。</p>
委員	<p>資料3の調査による把握とヒアリングによる把握の方法について、ここでいう「調査」というのは、郵送またはオンラインによる調査を指し、「ヒアリング」に関しては、直接話を伺うという理解でよろしいか。</p>
事務局	<p>その通りである。</p>
委員	<p>ここで行う調査は、指定された事業所や指定対象者だけに限定されている。介護支援に関わる、あるいは介護支援に尽力するNPOやボランティア団体なども存在すると思うが、これらの団体に対して意見聴取を導入することも、新しい施策として今後の対策の参考にしてはどうか提案する。</p>
会長	<p>今の話の中で、どの人を対象にするか、その部分が特定できるのか。介護サービスに関連する任意の団体なのか。実際にどれくらいあるのか。ボランティアの方々やNPOなど、どのように選定するのか。</p>
委員	<p>あくまでも任意の団体のことである。もしあれば、そのような団体にも目を向けたらどうかということである。</p>
会長	<p>普通、介護保険事業に関わるのは、社会保障制度の中で決められているところである。</p>
委員	<p>公的機関は当然やらなければいけない。その他に落ちているところもあるかもしれない。</p>
会長	<p>今日説明した中のどのような調査を行えばよいのか。新たに作るようになってしまう。</p>
委員	<p>現状に対する改善点や自治体に対しての意見をお聞きしてはどうか。</p>

事務局	ヒアリング調査について、まず、調査による把握を文書で行い、アンケートやオンラインで回答いただくが、その回答では捉えきれない現場の意見などをヒアリングによってさらに深く聞き取ることを目的としている。それを計画に反映させるために、ヒアリングという形の調査を設けている。
会長	先ほどの質問に対して、今回の調査では少し厳しいのではないと思う。実施する調査だけでも相当な負担がかかっている。さらに加えて、ボランティア団体やNPOについても調査を行うとなると、どの団体にヒアリングを実施するのか、その団体の性質によって異なる。また、ボランティアには個人で活動する人もいれば、団体として活動しているところもあり、これに関しては今後、行政の方で把握していく必要があると思うが、今回の調査に加えるのは少し難しい。これは検討課題としていただければと思う。
委員	資料2の指標の一つに「めぐり逢エールかわごえ」がある。これは地域共生社会において、さまざまな団体の取り組みを聞く場である。発表会が行われ、多くの団体が発表を行う形になっている。NPOの方が発表したり、社会福祉法人の方が発表したりしている。例えば生活支援に関わっているさまざまなNPOだったりとか、この場を活用して情報を聞いたり、支援をしている方が何に困っているのかということを知るので、この取り組みで捉えられるのではないと思う。
会長	改めて調査せずに行っている事業の中で話を聞くことができるということである。
委員	今回の調査ではないが、非常に興味があるという点で言えば、総合事業に係る移送サービスなど、本来、伸びてほしい政策で、その伸び率がどうなっているのか。事業所やボランティア団体の人たちの動きで、意外と総合事業が伸びている。ここは介護保険課の政策だと思うので、実際にやってくれている方々はどのような思いで取り組んでいるのかに興味がある。今後、力を入れていく施策と考えているので、調査を行った方が良いのではないと思う。これは今後における提案である。
事務局	サービスAに関しては、介護サービス事業所実態調査の問19の設問の選択肢の中の4番に入っている。
会長	調査項目について意見がある場合は、事務局の方に直接連絡していただき、それを受けて、全体を見て調整するというところで、会長への一任としてよろしいか。 (意見等なし)

5 その他

(1) 今後のスケジュールについて  
【参考資料】を基に事務局より説明

「歯ッピースフェスティバル2025」についての案内。

6 閉会

次回第5回審議会は令和7年8月19日午後2時開催予定。

●実態把握の方法(概要)

1 調査による把握

高齢者の現状	40歳～64歳	65歳以上		
		一般高齢者	事業対象者	要支援1・2
	<div style="background-color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     調査⑥ 保健・福祉等実態調査 本人へのアンケート調査                 </div>	<div style="background-color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     調査① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 本人へのアンケート調査                 </div>		<div style="background-color: yellow; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     調査② 在宅介護実態調査 認定調査員による本人への聞きとり                 </div>
			<div style="background-color: yellow; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     調査③ 在宅生活改善調査 ケアマネジャーへのアンケート調査                 </div>	
家族等介護者の現状	家族等介護者			
	<div style="background-color: yellow; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     調査② 在宅介護実態調査 認定調査員による本人への聞きとり                 </div>			
	<div style="background-color: yellow; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     調査③ 在宅生活改善調査 ケアマネジャーへのアンケート調査                 </div>			
事業者の現状	介護サービス事業者			
	居宅介護支援事業者	資料●参照		
	<div style="background-color: yellow; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     調査④ 居宅介護支援事業所実態調査 管理者に対するアンケート調査                 </div>	<div style="background-color: yellow; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     調査⑤ 介護サービス事業所実態調査 管理者及び職員に対するアンケート調査                 </div>		

2 ヒアリングによる把握

関係機関へのヒアリングを通じて対策のヒントを得る

3 調査実施状況(R7.8.19時点)

- 調査① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 … R7.11～R8.1 (予定)
- 調査② 在宅介護実態調査 … R7.7.7 開始
- 調査③ 在宅生活改善調査 … R7.8.18 開始
- 調査④ 居宅介護支援事業所実態調査 … R7.8.18 開始
- 調査⑤ 介護サービス事業所実態調査 … R7.8.18 開始
- 調査⑥ 保健・福祉等実態調査 … R7.11～R8.1 (予定)

## 川越市在宅介護実態調査 調査票

調査日：令和 年 月 日 調査員名：\_\_\_\_\_

被保険者番号：

1	0	0							
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

- 各問の回答は、選択肢の番号を○で囲ってください。
- ★マークのある設問は、「調査票 別紙（選択肢提示用）」を提示し回答を確認してください。
- 問でその他と回答し、その他に（ ）がある場合、その内容を（ ）内に記入してください。

下記ア～エは、調査員により事前または事後のチェック項目してもらう項目です。

## ア A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか。（複数選択可）

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人       | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー    |
| 5. その他（ ）        |                     |

## イ 調査対象者本人が該当する要介護度を1つ選択してください。

- |         |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1. 要介護1 | 2. 要介護2 | 3. 要介護3 | 4. 要介護4 | 5. 要介護5 |
| 6. 要支援1 | 7. 要支援2 |         |         |         |

## ウ 障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）について該当するものを1つ選択してください。

- |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 自立 | 2. J1 | 3. J2 | 4. A1 | 5. A2 |
| 6. B1 | 7. B2 | 8. C1 | 9. C2 |       |

## エ 認知症高齢者の日常生活自立度について該当するものを1つ選択してください。

- |          |       |         |         |          |
|----------|-------|---------|---------|----------|
| 1. 自立    | 2. I  | 3. II a | 4. II b | 5. III a |
| 6. III b | 7. IV | 8. M    |         |          |

A票	認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目
----	-------------------------

## 問1 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

- |         |           |           |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他（ ） |
|---------|-----------|-----------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（1つを選択）  
（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

- |                                         |                           |
|-----------------------------------------|---------------------------|
| 1. ない（家族や親族からの介護が全くない場合）                | 1を選択した場合、<br>問10へお進みください。 |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない               |                           |
| 3. 週に1～2日ある    4. 週に3～4日ある    5. ほぼ毎日ある |                           |

問3 介護者の方は、どなたですか。（複数選択可）  
（主な介護者は◎、そのほかの介護者は○で囲ってください。）

- |               |                |                 |
|---------------|----------------|-----------------|
| 1. 配偶者（同居・別居） | 2. 子（同居・別居）    | 3. 子の配偶者（同居・別居） |
| 4. 孫（同居・別居）   | 5. 兄弟姉妹（同居・別居） | 6. その他（同居・別居）   |

## 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

## 問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（1つを選択）

- |          |        |          |          |        |
|----------|--------|----------|----------|--------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代   | 4. 40代   | 5. 50代 |
| 6. 60代   | 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |        |

## 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

- |        |                        |                         |                |
|--------|------------------------|-------------------------|----------------|
| 〔身体介護〕 | 1. 日中の排泄               | 2. 夜間の排泄                | 3. 食事の介助（食べる時） |
|        | 4. 入浴・洗身               | 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）       | 6. 衣服の着脱       |
|        | 7. 屋内の移乗・移動            | 8. 外出の付き添い、送迎等          | 9. 服薬          |
|        | 10. 認知症状への対応           | 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） |                |
| 〔生活援助〕 | 12. 食事の準備（調理等）         |                         |                |
|        | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） | 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き    |                |
| 〔その他〕  | 15. その他（               |                         | ）              |
|        |                        |                         | 16. わからない      |

## 問7 介護者の方の中に、18歳未満の方はいますか。（1つを選択）

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. いる → 問8へ | 2. いない → 問9へ |
|-------------|--------------|

## 問8 その方の「就労・就学状況」について、ご回答ください。（複数選択可）

- |         |        |        |        |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 社会人  | 2. 高校生 | 3. 中学生 | 4. 小学生 |
| 5. その他（ |        |        | ）      |

## 問9 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）         |                       |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） |                       |
| 3. 主な介護者が転職した                 | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない      | 6. わからない              |

上記1～4と回答した方は、仕事を辞めた、又は転職した、具体的な理由をご回答ください。

## 問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない     | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている |                 |

## 問11 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

## 問12 ご本人（認定調査対象者）は、介護保険サービスに満足していますか。（1つを選択）

- |       |           |         |       |                 |
|-------|-----------|---------|-------|-----------------|
| 1. 満足 | 2. だいたい満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 | 5. サービスを利用していない |
|-------|-----------|---------|-------|-----------------|

## 問13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、介護サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く）を利用していますか。（1つを選択）

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 利用している → 問15へ | 2. 利用していない → 問14へ |
|------------------|-------------------|

## 問14 介護サービスを利用していない理由は何ですか。（複数選択可）

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない  | 2. (本人に)サービス利用の希望がない      |
| 3. 家族が介護をするため必要ない           | 4. 以前、利用していたサービスに不満があった   |
| 5. 利用料を払うのが難しい              | 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため  |                           |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない |                           |

問 15 ご本人（認定調査対象者）にお伺いします。あなたには、健康状態や病気のことだけでなく、日常生活の困りごとを気軽に相談できる医師はいますか。（1つを選択）

- |       |                           |        |
|-------|---------------------------|--------|
| 1. いる | 2. いないが、行く医療機関はだいたい決まっている | 3. いない |
|-------|---------------------------|--------|

問 16～問 18 は、ご本人（認定調査対象者）とご家族・親族の方（同席している場合）にお伺いします。

★問 16 あなたの思いを伝えることができる相談相手はいますか。

（あてはまるもの全て選択してください）

本人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14( )
家族・親族	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14( )

問 17 あなたの生活の状況について、どのように感じているか教えてください。各項目について、あてはまるものを1つ選択し、「思わない」又は「どちらともいえない」を選択した場合は、その理由やどのような経験からそう感じているのか、可能な範囲で備考欄にご記入ください。

問 17-1 あなたは「自立し、安心して、周囲の人々と共に暮らしている」と思いますか。

本人	1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない
【備考】			
親族・家族	1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない
【備考】			

問 17-2 あなたは「生きがいや希望をもって暮らしている」と思いますか。

本人	1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない
【備考】			
親族・家族	1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない
【備考】			

問 17-3 あなたは「自分の状況に応じた適切な保健医療サービスや福祉サービスを受けている」と思いますか。

本人	1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない
【備考】			
親族・家族	1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない
【備考】			

問 17-4 あなたの周りの人は、「認知症」に関して正しく理解していると思いますか。

本人	1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない
【備考】			
親族・家族	1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない
【備考】			

★問 18 認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。

あなたが思う最も近いものを選択してください。（1つを選択）

本人	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )
親族・家族	1	2	3	4	5	6	7	8 ( )

問 19 成年後見制度を知っていますか。（1つを選択）

- |                            |              |
|----------------------------|--------------|
| 1. 名称だけではなく、制度の内容も詳しく知っている | 3. 名称のみ知っている |
| 2. 名称は知っているが、制度の内容は詳しく知らない | 4. 知らない      |

問 20 将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。（1つを選択）

- |             |                |          |
|-------------|----------------|----------|
| 1. 利用したいと思う | 2. 利用したいとは思わない | 3. わからない |
|-------------|----------------|----------|

問 2で 「1. ない」（家族や親族からの介護が全くない）を回答した方は終了です。



## A票/問 16

あなたの思いを伝えることができる相談相手はいますか。

(**あてはまるもの全て**選択してください)

1. 相談相手はいない
2. 友人・知人
3. 家族・親族
4. ケアマネージャー
5. 介護施設等のスタッフ
6. 地域包括支援センター
7. 福祉相談センター
8. 保健センター・保健所
9. オレンジカフェ (認知症カフェ)
10. 診療所 (かかりつけ医)
11. もの忘れ外来 等
12. 認知症疾患医療センター
13. 認知症関連の当事者団体 (認知症の人と家族の会 等)
14. その他

## A票/問 18

認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。

あなたが思う最も近いものを選択してください。

(1つを選択)

1. できないことを自ら工夫して補いながら、今までどおり自立的に生活できる
2. 周囲のサポートを受けながら、できるだけ自立した生活ができる
3. 医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
4. 身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
5. 周囲に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
6. 症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう
7. わからない
8. その他

## B票/問2

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。

(**あてはまるもの全て**選択してください)

1. 特に行っていない
2. 介護のため、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け 等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇 等）」を取りながら、働いている
4. 介護のため、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、上記2～4以外の調整をしながら働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

## B票/問4

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。

(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

### ■ 身体の介護に関すること

- |                           |          |
|---------------------------|----------|
| 1. 日中の排泄                  | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助 (食べる時)           | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き 等)       | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動               |          |
| 8. 外出の付き添い、送迎 等           | 9. 服薬    |
| 10. 認知症状への対応              |          |
| 11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ 等) |          |

### ■ 生活の援助に関すること

12. 食事の準備 (調理 等)
13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物 等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

### ■ その他

15. 不安に感じていることは、特にない
16. 主な介護者に確認しないと、わからない
17. その他

## B票/問7

介護を続けていくにあたって、主な介護者の方が特に感じる不安、心配事等をご回答ください。(3つまで選択可)

1. 介護が日常化し、自分の時間が取れない
2. 夜間の徘徊や不眠で、十分な休息が取れない
3. 認知症の進行、当事者や自身の将来への不安
4. 介護の大変さからくるイライラや抑うつ状態
5. 感情的にぶつかってしまう自己嫌悪
6. 医療費や介護費用による、家計への負担
7. 介護のために仕事を辞めたり、仕事の時短による収入の減少
8. 介護に専念するあまり、友人や地域との繋がりの減少
9. 認知症に対する偏見や介護者としての責任感から相談ができない
10. 意思疎通の難しさ
11. 急な症状の変化や異常行動に対する対処方法の知識や経験の不足
12. 家族、親族間での意見の対立による孤立
13. 介護の役割分担による不公平感
14. 不安に感じていることは、特にない
15. わからない
16. 主な介護者に確認しないと、わからない
17. その他

## B票/問8

介護を続けていくにあたって、主な介護者の方が特に必要であると思う支援について、ご回答ください。

(3つまで選択可)

1. レスパイトケア (介護者の負担を軽減するための支援「デイサービスや訪問介護 等」)
2. メンタルケア (カウンセリング等)
3. 介護コミュニケーション技術の習得支援
4. 専門家への相談
5. 介護状況が似た介護者同士の交流会
6. 経済的負担軽減のための制度拡充
7. 情報収集・相談先の見える化
8. 地域コミュニティへの参加
9. わからない
10. その他





## 居宅介護支援事業所実態調査(参考)

※回答は、別紙に従いWEB【オンライン回答】で行ってください。

事業所名	
------	--

※この調査票は、居宅介護支援事業所の管理者の方がご回答ください。

ただし、問8以降の設問は、必要に応じて担当ケアマネジャーの方に聴き取りのうえ、ご回答ください。

※令和7年5月31日現在の状況についてご入力ください。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの正規職員及び非正規職員の現在の各年齢ごとの人数と合計の人数を、それぞれ入力してください。(令和7年5月31日現在)

	正規職員	非正規職員	全職員
65歳以上	人	人	人
60～64歳	人	人	人
50～59歳	人	人	人
40～49歳	人	人	人
30～39歳	人	人	人
29歳以下	人	人	人
合計	人	人	人

※正規職員とは、雇用している労働者で、労働時間に関係なく雇用期間の定めのない方です。

非正規職員とは、正規職員及び派遣労働者以外の労働者(契約・嘱託・パートなど)の方です。

問2 新規採用職員の賃金について定めがある場合、介護支援専門員の経験がない職員の所定内賃金を入力してください。

※賃金額は、1カ月あたりの決まって支給する税込み額です。(交通費・役職手当等毎月決まって支給される金額を含む)

※介護支援専門員の経験が無い新規採用職員の所定内賃金に年齢等で段階がある場合は、最も低い額を入力してください。

職種	1カ月あたりの賃金
介護支援専門員	円

問3 事業所管理者の令和6年中の給与収入額と、令和7年5月31日現在の年齢を入力してください。

※集計後の平均金額を公開します。個々の金額を公開することはありません。

職種	給与収入(年収)	年齢
事業所管理者	万円	歳

問4 1年間(令和6年6月1日～令和7年5月31日まで)の実募集人数及び採用人数を入力してください。

※実募集人数とは、採用を予定していた実人数です。例えば求人広告等で1名募集をしたものの、広告期間中に応募が無く、再度1名の求人広告を出した場合は、実募集人数1人と数えてください。

実募集人数	人
採用人数	人

問5 1年間(令和6年6月1日～令和7年5月31日まで)の離職者の人数を入力してください。

※離職者とは、調査対象期間中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他法人への出向者・出向復帰者を含め、同一法人内での転出入者を除きます。

離職者の人数	人
--------	---

問6 離職者ごとの在籍年数を教えてください。

1. 1年未満
2. 1～3年未満
3. 3～5年未満
4. 5～10年未満
5. 10年以上

問7 令和7年5月31日現在の要介護度別の利用者数を教えてください。

要支援・要介護度	人数
要支援1	人
要支援2	人
要介護1	人
要介護2	人
要介護3	人
要介護4	人
要介護5	人
申請中・不明	人

※これ以降の設問は、必要に応じて担当ケアマネジャーの方に聴き取りのうえご回答ください。

問8 貴事業所の事業実施地域(川越市内)で、下記のうち、介護サービス事業所数もしくは定員など、量的に不足していると思うサービスはどれですか。(3つまで選択可)

①	②	③
---	---	---

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 訪問介護</li> <li>2. 訪問入浴介護</li> <li>3. 訪問看護</li> <li>4. 訪問リハビリテーション</li> <li>5. 通所介護</li> <li>6. 通所リハビリテーション</li> <li>7. 短期入所生活介護</li> <li>8. 短期入所療養介護</li> <li>9. 居宅療養管理指導</li> <li>10. 特定施設入居者生活介護</li> <li>11. 福祉用具貸与</li> <li>12. 特定福祉用具販売</li> <li>13. 住宅改修</li> <li>14. 定期巡回・随時対応型訪問介護<br/>看護</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>15. 認知症対応型通所介護</li> <li>16. 地域密着型通所介護</li> <li>17. 小規模多機能型居宅介護</li> <li>18. 看護小規模多機能型居宅介護</li> <li>19. 認知症対応型共同生活介護</li> <li>20. 地域密着型特定施設入居者生活介護</li> <li>21. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活<br/>介護</li> <li>22. 介護老人福祉施設</li> <li>23. 介護老人保健施設</li> <li>24. 介護医療院</li> <li>25. 通所型サービス(総合事業)</li> <li>26. 訪問型サービス(総合事業)</li> <li>27. 特にない</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

問9 貴事業所の事業実施地域(川越市内)で、問8の選択肢1～16及び25～27のうち、介護サービス事業所数もしくは定員数などの都合で、ケアプランに組み入れにくくなっているサービスはどれですか。

(問8の選択肢1～16及び25～27のうち、3つまで選択)

①	②	③
---	---	---

問10 問9でケアプランに組み入れにくくなっている理由は何ですか。上記で選択したもの全てについて、理由をお答えください。※その他の具体例がありましたら入力してください。

	組み入れにくい理由(1つを選択)
問9で選択した組み入れにくいサービス①	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 事業所が少ない(定員に空きがない)</li> <li>2. 事業者はある程度あるが、定員に空きがない</li> <li>3. 内容がよくわからない</li> <li>4. 本人や家族の理解が得にくい</li> <li>5. その他( )</li> </ul>

	組み入れにくい理由(1つを選択)
問9で選択した組み入れにくいサービス②	1. 事業所が少ない(定員に空きがない) 2. 事業者はある程度あるが、定員に空きがない 3. 内容がよくわからない 4. 本人や家族の理解が得にくい 5. その他( )

	組み入れにくい理由(1つを選択)
問9で選択した組み入れにくいサービス③	1. 事業所が少ない(定員に空きがない) 2. 事業者はある程度あるが、定員に空きがない 3. 内容がよくわからない 4. 本人や家族の理解が得にくい 5. その他( )

問11 定期巡回・随時対応型訪問介護看護について、ケアプランへの組み入れを検討したことはありますか。「2. 検討したことがあるが、ケアプランへ組み込んだことがない」又は「3. 検討したことがない」を選択した場合は、その主な理由を入力してください。

1. 検討したことがあり、その際にケアプランへ組み込んだことがある
2. 検討したことがあるが、ケアプランへ組み込んだことがない
3. 検討したことがない

(2又は3を選択した場合、理由を自由記入)

問12 小規模多機能型居宅介護へのサービス変更を検討したことはありますか。

「2. 検討したことがあるが、変更したことがない」又は「3. 検討したことがない」を選択した場合は、その主な理由を入力してください。

1. 検討したことがあり、その際に変更したことがある
2. 検討したことがあるが、変更したことがない
3. 検討したことがない

(2又は3を選択した場合、理由を自由記入)

問13 看護小規模多機能型居宅介護へのサービス変更を検討したことはありますか。

「2. 検討したことがあるが、変更したことがない」又は「3. 検討したことがない」を選択した場合は、その主な理由を入力してください。

1. 検討したことがあるが、その際に変更したことがある
2. 検討したことがあるが、変更したことがない
3. 検討したことがない

(2又は3を選択した場合、理由を自由記入)

問14 令和7年4月1日から令和7年5月31日までの期間に、地域包括支援センターからの予防給付のマネジメント等の委託を受けたことがありますか。

1. 委託を受けたことがある
2. 委託を受けたことがない
3. わからない

問15 【問14で「2. 委託を受けたことはない」と選択した方にお伺いします】  
委託を受けなかった理由は次のうちどれですか。(複数選択可)

1. 地域包括支援センターからの依頼がなかった
2. ケアマネジャーの人数が少ない
3. 予防給付のマネジメント費の委託料が少ない
4. 当該事業所では、1人あたりが受け持つケアプランの件数を独自に定めている
5. 地域包括支援センターとの書類等のやり取りに時間がかかる
6. 認定調査時の資料など、ケアプラン作成に必要な書類を直接取り寄せることができず、時間がかかる
7. ケアプラン作成にあたり、利用者からの要望が多く、調整に時間がかかる傾向がある
8. 予防給付のケアマネジメントのやり方がよく分からない
9. その他( )

問16 予防ケアマネジメント等の委託について日頃より感じること(意見等)があれば入力してください。

問17 介護予防支援の指定を受けることについて検討したことはありますか。

1. 指定を受けた
2. 検討したが指定の申請に至っていない
3. 検討したことはない

問18 【問17で「2. 検討したが指定の申請に至っていない」又は「3. 検討したことはない」を回答された場合】

その理由をご回答ください。(複数選択可)

1. 対象者が少ない
2. 予防給付のケアマネジメントのやり方がよく分からない
3. 地域包括支援センターの委託と異なり介護予防ケアマネジメントのみができない
4. 介護報酬が少ない
5. 予防給付ケアマネジメントを処理する余裕がない
6. その他( )

問19 令和2年6月に川越駅西口の川越市民サービスステーション内に開設された、複合的な課題や制度の狭間の問題を抱える方の相談ができる「福祉総合相談窓口」を活用していますか。

1. 活用している
2. 知っているが、活用には至っていない
3. 知らない

問20 川越市において、「住み慣れた地域での在宅生活の継続」の実現を目的として「地域包括ケアシステム」の推進のために、必要だと思われるインフォーマルサービス(※)はどれがあるとお考えですか。(複数選択可)

※インフォーマルサービスとは、公的機関や専門職による制度に基づくサービスや支援(フォーマルサービス)以外の支援のことです。

1. ひとり暮らし高齢者などに対する見守り支援
2. 配食サービス(あわせて安否確認も)
3. 外出時の移動支援
4. 高齢者が交流するための場(サロン等)の充実
5. 話し相手
6. ゴミ出し支援
7. 生活援助(訪問介護の生活援助に準ずるサービス)
8. 生活援助(訪問介護の生活援助の範囲を超えるサービス)
9. 生きがい活動支援
10. その他( )

問21 「在宅医療・介護事業者検索システム」、「ケア倶楽部」を業務に活用していますか。

《在宅医療・介護事業者検索システム》

1. 活用している
2. 知っているが、活用には至っていない
3. 知らない

《ケア倶楽部》

1. 活用している
2. 知っているが、活用には至っていない
3. 知らない

問22 川越市在宅医療拠点センターを活用していますか。

1. 活用している
2. 知っているが、活用には至っていない
3. 知らない

問23 高齢者の在宅医療に関して、ご意見があれば入力してください。

問24 医療・介護の連携について、ご意見があれば入力してください。

問25 本市が作成した「その人の希望をみんなで形に『高齢者自身が主体的に生活できるよう支援するガイドブック』」を事業所内で周知していますか。

1. 周知している
2. 知っているが、周知には至っていない
3. 知らない

問26 問25のガイドブックについて、ご意見、ご要望がありましたら入力してください。

## 介護サービス事業所実態調査 事業所概況票(参考)

※回答は、別紙に従いWEB【オンライン回答】で行ってください。

事業所名	
介護サービス種別 (1つを選択)	この欄については、WEB【オンライン回答】上で項目を選択できるようになっています。

※この「事業所概況票」は、施設・事業所の施設長・管理者の方がご回答ください。

※令和7年5月31日現在の状況についてご入力ください。

問1 訪問介護員・介護職員・看護職員(派遣労働者を除く)について、1年間(令和6年6月1日から令和7年5月31日まで)の実募集人数及び採用人数を入力してください。

※実募集人数とは、採用を予定していた実人数です。例えば求人広告等で1名募集をしたものの、広告期間中に応募が無く、再度1名の求人広告を出した場合は、実募集人数1人と数えてください。

	実募集人数			採用人数		
	正規職員 (注1)	非正規職員(注2)		正規職員	非正規職員	
		常勤 労働者 (注3)	短時間 労働者 (注4)		常勤 労働者	短時間 労働者
訪問介護員						
介護職員(注5)						
看護職員						
合計						

(注1) 正規職員とは、雇用している労働者で、労働時間に関係なく雇用期間の定めのない方です。

(注2) 非正規職員とは、正規職員以外の労働者(契約・嘱託・パートなど)の方です。

(注3) 非正規職員の常勤労働者とは、1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ方です。

(注4) 非正規職員の短時間労働者とは、1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い方です。

(注5) 介護職員とは、介護保険の訪問介護以外の指定介護事業所で働き、直接介護を行う方です。

問2 訪問介護員・介護職員・看護職員(派遣労働者を除く)について、1年間(令和6年6月1日から令和7年5月31日まで)の離職者の人数を入力してください。

※離職者とは、調査対象期間中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他法人への出向者・出向復帰者を含め、同一法人内での転出入者を除きます。

	離職者の人数		
	正規職員	非正規職員	
		常勤労働者	短時間労働者
訪問介護員			
介護職員			
看護職員			
合計			

問3 問2でご回答いただいた離職者ごとの在籍年数を教えてください。

(離職者ごとに1つを選択)

1. 1年未満
2. 1～3年未満
3. 3～5年未満
4. 5～10年未満
5. 10年以上

問4 令和7年5月31日現在の訪問介護員・介護職員・看護職員その他の専門職(派遣労働者を除く)の人数(注6)をそれぞれ入力してください。

また、非正規職員については、勤務形態別の内数も入力してください。

	正規職員		非正規職員			
			常勤労働者		短時間労働者	
	男	女	男	女	男	女
①訪問介護員						
②サービス提供管理者						
③介護職員						
④看護職員						
⑤生活相談員						
⑥PT・OT・ST等(注7)						
⑦介護支援専門員						
合計①～⑦						

(注6)資格ではなく従事している仕事(職種)に着目して入力してください。なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力してください。

(注7)PT・OT・ST等とは、PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員をいいます。

問5 貴事業所の定員数(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護は登録定員数)を入力してください。

定員数(登録定員数)	人
------------	---

問6 令和7年5月31日現在の要介護度別の利用者数を入力してください。

要支援・要介護度	人数
要支援1	人
要支援2	人
要介護1	人
要介護2	人
要介護3	人
要介護4	人
要介護5	人
申請中・不明	人

## 介護サービス事業所実態調査 管理者票(参考)

※回答は、別紙に従いWEB【オンライン回答】で行ってください。

事業所名	
介護サービス種別 (1つを選択)	この欄については、WEB【オンライン回答】 上で項目を選択できるようになっています。

※この「管理者票」は、施設・事業所の施設長・管理者の方がご回答ください。

ただし、特に問5以降の設問で、法人本部が把握されている内容については、本部の方がご回答ください。

※令和7年5月31日現在の状況についてご入力ください。

問1 あなたが現在の事業所に就職する直前の職場を教えてください。(1つを選択)

1. 現在の職場が初めての就職先
2. 訪問介護・入浴・看護・夜間、定期巡回
3. 通所介護、通りハ、認知デイ、密着デイ
4. 小多機、看多機
5. 密着特養、密着特定施設、グループホーム
6. 広域型特養、特定施設、ショートステイ
7. 老健、介護療養型医療施設、介護医療院
8. 住宅型有料、サ高住(特定施設以外)
9. その他の介護サービス( )
10. 介護以外の業種( )

問2 あなたの現在の事業所の在籍年数を教えてください。(1つを選択)

1. 1年未満
2. 1～3年未満
3. 3～5年未満
4. 5～10年未満
5. 10～15年未満
6. 15～20年未満
7. 20年以上

問3 あなたの現在の法人に就職した理由について、お答えください。

(複数選択可)

1. より賃金の高い職場で働きたいため
2. より時間外勤務が少ない職場で働きたいため
3. 自分に合った勤務時間や勤務シフトで働きたいため
4. 法人の経営方針や理念が自分と合っているため
5. 新しい人間関係の中で働きたかったため
6. より権限と責任のある立場にステップアップするため
7. 自宅に近い場所で働きたいため
8. 異なるサービスの事業所で経験を積みたいため
9. 介護の仕事はやりがいがあるため
10. 介護の仕事は高齢化社会に貢献できるため
11. その他( )

問4 貴事業所には、介護の仕事をしている外国人労働者がいますか。

※外国人労働者とは、国籍が日本以外の労働者のこと。(ただし、特別永住者は除く。)

1. いる                      2. いない ➡ 問6へ

※これ以降の設問で、法人本部が把握されている内容については、本部の方がご回答ください。

問5 外国人労働者の受け入れ状況について、お答えください。(複数選択可)

1. E P A (経済連携協定)による受け入れ
2. 在留資格「介護」による受け入れ
3. 技能実習による受け入れ
4. 在留資格「特定技能1号」による受け入れ
5. その他( )

問6 貴事業所では今後、外国人労働者を雇用する予定はありますか。

1. 雇用する予定がある    2. 雇用する予定はない ➡ 問8へ

問7 【問6で「1.雇用する予定がある」とご回答いただいた事業所にお伺いします】  
外国人労働者を雇用する予定がある場合、どの方法で受け入れを考えていますか。  
(複数選択可)

1. E P A (経済連携協定)による受け入れ
2. 在留資格「介護」による受け入れ
3. 技能実習による受け入れ
4. 在留資格「特定技能1号」による受け入れ
5. その他( )

問8 外国人労働者の今後の雇用について、何か課題はありますか。(複数選択可)

1. 日本人職員との会話等における意思疎通に支障がある
2. 利用者等との会話等における意思疎通に支障がある
3. 日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障がある
4. 生活、習慣等の違いにより、日常業務に支障がある
5. 人件費以外にさまざまなコストがかかる
6. 受け入れ方法や雇用方法がわからない
7. わからない

問9 高校新卒正規職員の賃金(月額)について、基本給・定額的に支払われる手当・固定残業代・その他の手当等を入力してください。

また、年間の賞与金額(前年度実績)について入力してください。

※基本給や手当等の区分けは、ハローワークの求人票の分け方に準じてください。

賃金の内訳	金額	手当の名称等
基本給	円	
定額的に支払われる手当	円	
固定残業代	円	
その他の手当等	円	
賞与金額	ヵ月分	

問10 介護職員・訪問介護員(フルタイムの正規職員)の月平均労働日数・月平均時間外労働時間・年間休日数・年間平均休暇取得日数(年間休日数以外)を入力してください。

※ハローワークに求人を出している場合は数字の整合性を意識してください。

月平均労働日数	日
月平均時間外労働時間	時間
年間休日数	日
年間平均休暇取得日数(年間休日数以外)	日

問11 あなたの令和6年中の給与収入額と、令和7年5月31日現在の年齢を入力してください。

※各事業所・施設の集計後の金額・年齢を公表します。個人の方のご回答を公表することはありません。

職種	給与収入(年収)	年齢
事業所管理者(施設長)	万円	歳

問12 現在、貴事業所で職員の早期離職防止や定着促進を図るために取り組んでいることを入力してください。

--

問13 今後、職員の早期退職防止や定着促進を図るために、どのような対策をとれば効果的と感じていますか。

--

問14 職員を募集する場合、最も効果のある方法と思うものはどれですか。(複数選択可)

1. ハローワークに求人を出す
2. 民間の求人広告に募集を出す
3. ハローワーク主催の集団面談でブースを出す
4. 知人・関係各所に紹介を依頼する
5. 事業所ホームページやSNSに掲載する
6. その他( )

問15 貴事業所で、介護人材を確保するために、効果的だと思われる施策はどれですか。(複数選択可)

1. 介護助手の導入支援
2. 離職した介護職員の届出システムによる復職支援
3. 外国人介護人材の受入れに係る経費の一部補助
4. 人材育成等について優れた取組を行っている介護事業所の認証
5. 職員の負担軽減や業務の効率化のためのICTの導入支援
6. 介護未経験者に対する入門的研修の実施
7. 介護の仕事を紹介するイベントへの参加を通じたマッチング
8. 入門的研修の修了者とオンライン面接を通じたマッチング
9. 入門的研修の修了者に対する職場体験やインターンシップを通じたマッチング
10. 介護職員初任者研修の修了者に対する職場体験やインターンシップを通じたマッチング
11. 介護職員初任者研修の修了者とオンライン面接を通じたマッチング
12. 採用活動に資するセミナーや研修機会(オンライン受講可)の提供
13. いずれも効果的とは思わない
14. その他( )

問16 貴事業所において、1年間(直近の決算期)の収支はいかがでしたか。

※単純な事業所単位での収支で考えていただき、減価償却費や法人本部の納税額は考慮しないでご回答ください。

1. 採算がとれている
2. 採算ライン(収支がほぼゼロ)
3. 採算がとれていない
4. わからない

問17 【問16で「2. 採算ライン(収支がほぼゼロ)」又は「3. 採算がとれていない」と回答いただいた事業所の方にお伺いします】

採算がとれていない主な要因として、どのようなものがありますか。(2つまで選択可)

1. 定員を充足できず、利用料と介護報酬の収入が運営経費に対して減少
2. 人件費の高騰
3. 光熱水費、食材費等の物価高騰
4. 施設の維持修繕費の増大
5. 職員採用経費の増大
6. ICT導入経費の計上
7. その他( )

問18 貴事業所の介護サービス種別は、現在川越市内の利用者に対して、事業所数(施設数)が不足していると感じますか。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 非常に不足していると感じる | 4. やや余っていると感じる  |
| 2. やや不足していると感じる  | 5. 非常に余っていると感じる |
| 3. ちょうど良いと感じる    |                 |

問19 【問18で「1. 非常に不足していると感じる」又は「2. やや不足していると感じる」とご回答いただいた事業所の方にお伺いします】

貴事業所の介護サービス種別の不足を解消するために、効果的だと思われる対策はどれですか。

1. 代替となる他のサービス利用での対応
2. 既存事業所の定員増に対する支援
3. 新規事業所の整備に対する支援
4. 訪問型サービスAや通所型サービスAの導入
5. その他( )
6. いずれも効果的ではない

問20 貴事業所と連携するため、川越市内の貴事業所以外の介護サービス種別で不足している(増やしてほしい)事業所はありますか。(2つまで選択可)

【在宅サービス】

1. ショートステイ
2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 夜間対応型訪問介護
5. 訪問看護
6. 訪問リハビリテーション
7. 通所介護
8. 通所リハビリテーション
9. 認知症対応型通所介護
10. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
11. 小規模多機能型居宅介護
12. 看護小規模多機能型居宅介護
13. 訪問診療
14. 居宅療養管理指導

【居住系・施設サービス】

15. 住宅型有料老人ホーム
16. サービス付き高齢者向け住宅(特定施設を除く)
17. グループホーム
18. 特定施設入居者生活介護
19. 介護老人保健施設
20. 介護医療院
21. 特別養護老人ホーム

問21 貴事業所の運営継続のために要望する施策はどれですか。

1. 経営改善に向けた取組への支援
2. 物価高騰対策への支援
3. 施設の大規模修繕への支援
4. サービス供給量の規制
5. その他( )

問22 災害対策について、台風や地震、或いは感染症の蔓延等に対する備えとして、どのような物資を備蓄していますか。(複数選択可)

- 1. 食料品(3日分以上)
- 2. 衛生用品(1週間分以上)
- 3. 備蓄していない
- 4. その他( )

問23 貴事業所が地域の中で取り組んでいることをご回答ください。(複数選択可)

- 1. 介護保険外の生活支援サービスの提供
- 2. 事業所の設備や建物等を地域に開放
- 3. 祭りなど地域行事に事業所として参加
- 4. 町内会・自治会等にメンバーとして参加・日常的な関係づくり
- 5. 民生委員、関係機関等とともに地域の見守りのネットワークに参加
- 6. 介護や健康づくり等に関するセミナーを開催・支援、職員派遣
- 7. 地域の介護者の集いを開催・支援
- 8. 職場見学・職場体験や実習の受け入れ、教育機関への出張講義・出張相談等
- 9. ボランティアの受け入れ
- 10. 生活・介護支援や見守りのためのボランティアの育成・組織化
- 11. その他( )
- 12. いずれも行っていない

問24 問23でご回答いただいた中で、特に効果があった取組をご回答ください。  
(問23で選択した中で3つまで選択可)

特に効果があった取組			
------------	--	--	--

問25 川越市において「住み慣れた地域での在宅生活の継続」の実現を目的とした「地域包括ケアシステム」を推進するために必要と思われるインフォーマルサービス(※)をご回答ください。(複数選択可)

※インフォーマルサービスとは、公的機関や専門職による制度に基づくサービスや支援(フォーマルサービス)以外の支援のことです。

1. ひとり暮らし高齢者などに対する見守り支援
2. 配食サービス(あわせて安否確認も)
3. 外出時の移動支援
4. 高齢者が交流するための場(サロン等)の充実
5. 話し相手
6. ゴミ出し支援
7. 生活援助(訪問介護の生活援助に準ずるサービス)
8. 生活援助(訪問介護の生活援助の範囲を超えるサービス)
9. 生きがい活動支援
10. その他( )

問26 「川越市在宅医療・介護事業者検索システム」、「ケア倶楽部」を業務に活用したことがありますか。

《川越市在宅医療・介護事業者検索システム》

1. 活用している
2. 知っているが、活用には至っていない
3. 知らない

《ケア倶楽部》

1. 活用している
2. 知っているが、活用には至っていない
3. 知らない

問27 川越市在宅医療拠点センターを活用したことがありますか。

1. 活用したことがある
2. 知っているが、活用したことはない
3. 知らない

問28 コミュニティネットワークかわごえはご存じですか。

※コミュニティネットワークかわごえ(CCN)は、医療と介護の関係団体が構成員となり、医療・介護関係者のネットワークづくり・顔の見える関係性の構築、同職種・多(他)職種間の資質向上、地域ケア会議の推進などの取組を行っています。

- 1. 加入している
- 2. 加入を検討している
- 3. 知らない

問29 高齢者の在宅医療に関して、ご意見があれば入力してください。

問30 医療・介護の連携について、ご意見があれば入力してください。

問31 【以下の設問は、特別養護老人ホーム(地域密着型を含む)・介護老人保健施設・グループホーム・特定施設入居者生活介護事業所(地域密着型を含む)のみご回答ください。】

問31-1 貴事業所・施設で看取りの対応は行われていますか。

1. 行っている                      2. 行っていない

問31-2 【問31-1で「2. 行っていない」とご回答いただいた事業所・施設にお伺いします】  
対応は行われていない理由をご回答ください。

問31-3 緊急時における嘱託医(配置医師等)の対応状況について、該当するものをご回答ください。(複数選択可)

1. 嘱託医(配置医師等)の通常の勤務時間外に対応している
2. 早朝・夜間に対応している
3. 深夜に対応している
4. 嘱託医(配置医師等)の通常の勤務時間内のみ対応している

問31-4 協力医療機関との連携状況について、該当するものをご回答ください。(複数選択可)

1. 利用者の病状が急変した場合等に、医師又は看護職員が相談対応を行う体制を常時確保している
2. 診療の求めがあった場合に、診療を行う体制を常時確保している
3. 入所者の病状の急変が生じた場合等に、医師が診療を行い入院を要すると認められたときは原則として入院を受け入れる体制を確保している
4. 嘱託医と協力医療機関の協力を得て、利用者の急変時の対応方法をあらかじめ定めている
5. 嘱託医と協力医療機関の協力を得て、利用者の急変時の対応方法を1年に1回以上見直している
6. 協力医療機関との間で、利用者の同意を得て当該利用者の病歴等の情報を共有する会議を月1回以上開催している

問31-5 嘱託医(配置医師)や協力医療機関との連携についての課題がありましたらご回答ください。



## 介護サービス事業所実態調査 職員票(参考)

※回答は、別紙に従いWEB【オンライン回答】で行ってください。

事業所名	
介護サービス種別 (1つを選択)	この欄については、WEB【オンライン回答】上で項目を選択できるようになっています。

※この「職員票」は、施設・事業所に在籍している、訪問介護員・サービス提供責任者・介護職員・看護職員・生活相談員・機能訓練指導員・介護支援専門員の方(派遣労働者を除く)がご回答ください。

※令和7年5月31日現在の状況についてご入力ください。

問1 あなたの国籍を教えてください。

1. 日本
2. その他( )

問2 あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性
3. 回答を差し控える

問3 あなたの年齢を教えてください。(1つを選択)

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60～64歳
7. 65歳以上

問4 あなたの雇用形態を教えてください。(1つを選択)

1. 正規職員
2. 非正規職員(常勤)
3. 非正規職員(非常勤)

問5 あなたの職種を教えてください。(複数選択可)

1. 訪問介護員
2. サービス提供責任者
3. 介護職員
4. 看護職員
5. 生活相談員
6. 機能訓練指導員
7. 介護支援専門員

問6 あなたが現在の事業所に就職する直前の職場を教えてください。(1つを選択)

1. 現在の職場が初めての就職先
2. 訪問介護・入浴・看護・夜間、定期巡回
3. 通所介護、通りハ、認知デイ、密着デイ
4. 小多機、看多機
5. 密着特養、密着特定施設、グループホーム
6. 広域型特養、特定施設、ショートステイ
7. 老健、介護療養型医療施設、介護医療院
8. 住宅型有料、サ高住(特定施設以外)
9. その他の介護サービス( )
10. 介護以外の業種( )

問7 あなたの現在の事業所の在籍年数を教えてください。(1つを選択)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 1年未満    | 5. 10～15年未満 |
| 2. 1～3年未満  | 6. 15～20年未満 |
| 3. 3～5年未満  | 7. 20年以上    |
| 4. 5～10年未満 |             |

問8 現在の法人・事業所に就職した理由について、お答えください。(複数選択可)

1. より賃金の高い職場で働きたいため
2. より時間外勤務が少ない職場で働きたいため
3. 自分に合った勤務時間や勤務シフトで働きたいため
4. 法人の経営方針や理念が自分と合っているため
5. 新しい人間関係の中で働きたかったため
6. より権限と責任のある立場にステップアップするため
7. 自宅に近い場所で働きたいため
8. 異なるサービスの事業所で経験を積みたいため
9. 介護の仕事はやりがいがあるため
10. 介護の仕事は高齢化社会に貢献できるため
11. その他( )

問9 現在、介護に携わる人材の確保が課題となっていますが、今後、介護サービス事業所・施設の職員の方の早期退職防止や定着促進を図るために、どのような対策をとれば効果的と感じていますか。

## 国の調査概要

### ■ 目的

保険者が、一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定(地域診断)に資することなどを目的として実施します。からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康などに関する項目を調査します。

### ■ 調査対象者

要介護1～5以外の高齢者

- 一般高齢者
- 介護予防・日常生活支援総合事業対象者
- 要支援・1・2

### ■ 対象者数

日常生活圏域において各400件程度の回答

- 試算式  $400 \text{件} \times \text{日常生活圏域数} \div \text{回収率}$

### ■ 設問項目

必須項目 35項目 / オプション項目 29項目

## 市としての考え方の方向性

### ■ 調査(設問設定)のねらい

- ① 第8～9期計画で基本方針に掲げた「健幸」。アウトカム指標として、主観的幸福感の向上を定めているが、今回の調査においては、主観的幸福感の高い人の特徴や幸福感の向上に何の関係しているのかなどを把握・分析し、今後の対策を検討する基礎資料とする。
- ② 国が定めた認知症施策推進基本計画では、認知症の人の声を起点とし、認知症の人の視点に立って、認知症の人や家族等と共に施策を推進することが期待されている。  
今回の調査においては、基本計画に掲げられている3つの重点目標に即し、現状を把握し、今後の施策を考える上での基礎資料とする。

### ■ 調査票の送付・回答方法

郵送配布 / 郵送回答 または オンライン回答

### ■ 対象者数

約9,000件(400件×14圏域÷回収率62%)

### ■ 調査時期

令和7年11月から令和8年1月頃(予定)

## 【4つの重点目標】

【重点目標1】国民一人一人が「新しい認知症観」を理解していること

【重点目標2】認知症の人の生活においてその意思等が尊重されていること

【重点目標3】認知症の人・家族等が他の人々と支え合いながら地域で安心して暮らすことができること

【重点目標4】国民が認知症に関する新たな知見や技術を活用できること

## 【重点目標1～3に対するアウトカムの指標例】

【重点目標1】国民一人一人が「新しい認知症観」を理解していること

- 認知症や認知症の人に関する国民の基本的な知識の理解度
- 国民における「新しい認知症観」の理解とそれに基づく振る舞いの状況

【重点目標2】認知症の人の生活においてその意思等が尊重されていること

- 地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていると考  
えている認知症の人及び国民の割合

【重点目標3】認知症の人・家族等が他の人々と支え合いながら地域で安心して暮らすことができること

- 自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいると感じている認知症の人の割合
- 地域で役割を果たしていると感じている認知症の人の割合
- 認知症の人が自分らしく暮らせると考えている認知症の人及び国民の割合
- 認知症の人の希望に沿った、保健医療サービス及び福祉サービスを受けていると考えている認知症の人の割合

## 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査項目（案）

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
—	記入日	令和 年 月 日	—	—
—	調査票を記入されたのはどなたですか	1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄： ) 3. その他	—	—
—	ご本人の要介護認定についての状況をお教えてください	1. 要介護認定を受けていない 2. 要支援 1 3. 要支援 2 4. 事業対象者※	—	—
<b>問1 あなたのご家族や生活状況について</b>				
市	問1-1 あなたの性別をお教えてください	1. 男性 2. 女性 3. 回答なし	—	—
市	問1-2 あなたの年齢をお教えてください	( ) 歳	—	—
必	問1-3 家族構成をお教えてください	1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他	—	—
必	問1-4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	—	—
市	問1-5 あなたの主な仕事(職業)をお教えてください	1. 自営業・自由業・農業 2. 会社員・公務員などの勤め人(派遣社員を含む) 3. パート・アルバイト 4. 家事専業(主婦、主夫) 5. 無職 6. その他( )	—	—
必	問1-6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある	—	—

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
<b>問2. からだを動かすことについて</b>				
必	問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	—	—
必	問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	—	—
必	問2-3 15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	—	—
必	問2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	—	—
必	問2-5 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	—	—
必	問2-6 週に1回以上は外出していますか (畑や隣近所へ行く、買い物、通院などを含みます)	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	—	—
必	問2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない	—	—
オ	問2-8 外出を控えていますか	1. はい 2. いいえ	—	—
市	問2-9 あなたは買い物するための移動に困っていますか	1. 非常に困っている 2. 少し困っている 3. あまり困っていない 4. 全く困っていない	—	—
	「1. 非常に困っている」「2. 少し困っている」を選択された方は、困っている理由について具体的にお教えてください	自由記入欄		
市	問2-10 あなたは通院するための移動に困っていますか	1. 非常に困っている 2. 少し困っている 3. あまり困っていない 4. 全く困っていない	—	—
	「1. 非常に困っている」「2. 少し困っている」を選択された方は、困っている理由について具体的にお教えてください	自由記入欄		

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
<b>問3. 食べることについて</b>				
必	問3-1 身長・体重	身長 ( ) cm 体重 ( ) kg	—	—
必	問3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	—	—
オ	問3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	—	—
オ	問3-4 口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	—	—
必	問3-5 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	—	—
オ	問3-6 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ	—	—
必	問3-7 どなたかと食事をとる機会がありますか	1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	—	—
<b>問4. 毎日の生活について</b>				
市	問4-1 日常生活で困っていることはありますか(いくつでも)	1. 税金の支払いや公共機関の手続き 2. 財産やお金の管理 3. 近くで買い物をする場所がない 4. 買い物に行くのが困難(行けない) 5. 日々のゴミ出し 6. 日常の力仕事(家具の移動等) 7. 庭の手入れ 8. 掃除 9. 洗濯 10. 食事の準備 11. 外出の際の移動手段 12. 電化製品の扱い方 13. ペットの世話 14. その他( ) 15. 特に困っていることはない	—	—

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
必	問4-2 物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	—	—
必	問4-3 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	—	—
必	問4-4 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	—	—
必	問4-5 自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	—	—
必	問4-6 自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	—	—
必	問4-7 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	—	—
オ	問4-8 生きがいがありますか	1. 生きがいあり⇒( ) 2. 思いつかない	—	—
市	問4-9 自宅以外に落ち着ける・安心できる居場所がありましたら、どんな場所かお教えてください(主なものを1つ選択)	1. 友人・知人宅 2. 自宅周辺(散歩) 3. 趣味の集まりや稽古の場 4. スーパー・ショッピングセンター・百貨店などの商業施設 5. 喫茶店・食堂などの飲食店 6. 仕事場 7. 銭湯・健康ランド 8. 公園 9. 病院・診療所 10. 公民館等公共施設 11. カラオケボックス・カラオケ喫茶 12. スポーツクラブ 13. その他( ) 14. 落ち着ける・安心できる居場所はない	—	—

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
<b>問5. 健康について</b>				
必	問5-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	—	—
市	問5-2 あなたが健康を維持するためにしていることや心掛けていることはありますか(いくつでも)	1. ウォーキングなどの運動・体操をする 2. 趣味を持つ 3. 人とのつながり 4. 仕事をする 5. 食事の栄養バランスに気をつける 6. 休息や睡眠をとるようにする 7. 規則正しい生活を心がける 8. 特にない	—	—
必	問5-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ	—	—
必	問5-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ	—	—
市	問5-5 最近2週間の様子についてお教えてください(それぞれ1つを選択)		—	最近2週間の精神的健康状態を把握するため (WHO-5)
	①明るく、楽しい気分で過ごした	1. いつもそうだった 2. そういう時が多かった 3. そういう時は少なかった 4. まったくなかった		
	②落ち着いたリラックスした気分で過ごした			
	③意欲的で活動的に過ごした			
	④ぐっすり休め、気持ちよくめざめた			
⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった				
必	問5-6 タバコは吸っていますか	1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない	—	—

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
必	問5-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつかでも)	1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他( )	-	-

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
<b>問6. 地域での活動について</b>				
必	問6-1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか (それぞれ1つを選択) ①ボランティアのグループ ②スポーツ関係のグループやクラブ ③趣味関係のグループ ④学習・教養サークル ⑤介護予防のための通いの場 (いもっこ体操などの体操やサロンなど) ⑥老人クラブ ⑦町内会・自治会 ⑧収入のある仕事	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	—	—
市	問6-2 【問6-1の①から⑧で、「1. 週4回以上」から「5. 年に数回」に○をつけた方のみ】 会・グループ等の情報をどのような方法で取得していますか (いくつでも)	1. インターネット (Web検索、SNSなど) 2. テレビ、ラジオ 3. 新聞 (デジタル版を含む) 4. 市ホームページ 5. 広報川越 6. スーパーマーケットなどの店舗にある掲示板 7. 友人や家族からの口コミ 8. その他 ( )	—	どの情報源から情報を得ているのかを把握するため
必	問6-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している	—	—
市	問6-4 【問6-3で「1. 是非参加したい」または「2. 参加してもよい」の方のみ】 今後、社会参加したい活動はありますか (いくつでも)	1. 健康づくり・スポーツ・運動などの活動 2. 1以外の趣味を通じたサークル活動 3. 地域行事 (催し物や祭りなど) 4. 地域づくり・街づくり活動 (町内会、老人会など) 5. ひとり暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動 6. 地域の伝統や文化を伝える活動 7. 子育て支援活動 (こども食堂の支援など) 8. その他 ( ) 9. 特にない	—	—
必	問6-5 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたいと思いますか	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している	—	—

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
<b>問7. たすけあいについて</b>				
市	問7-1 家族や親戚についてお教えてください (それぞれ1つを選択)		—	家族や親戚とのつながりを把握するため
	①少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする家族や親戚は何人いますか	1. いない 2. 1人 3. 2人 4. 3～4人 5. 5～8人 6. 9人以上		
	②個人的なことでも話すことができるくらい気楽に感じられる家族や親戚は何人いますか			
	③助けを求めることができるくらい親しく感じられる家族や親戚は何人いますか			
市	問7-2 友人関係についてお教えてください (それぞれ1つを選択)		—	友人とのつながりを把握するため
	①少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする友人や知人は何人いますか	1. いない 2. 1人 3. 2人 4. 3～4人 5. 5～8人 6. 9人以上		
	②個人的なことでも話すことができるくらい気楽に感じられる友人や知人は何人いますか			
	③助けを求めることができるくらい親しく感じられる友人や知人は何人いますか			
市	問7-3 家族以外の地域の人を頼ることに抵抗はありますか	1. 強い抵抗がある 2. やや抵抗がある 3. あまり抵抗がない 4. まったく抵抗がない	成果指標 6	—
市	問7-4 反対に、家族以外の地域の人から頼りにされることに抵抗はありますか	1. 強い抵抗がある 2. やや抵抗がある 3. あまり抵抗がない 4. まったく抵抗がない	成果指標 7	—
【問7-5から問7-10について当てはまる番号に○をつけてください (いくつでも)】			—	—
必	問7-5 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他 ( ) 8. そのような人はいない	—	—
必	問7-6 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人		—	—
必	問7-7 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人		—	—
必	問7-8 反対に、看病や世話をしてあげる人		—	—
市	問7-9 災害時にあなたを助けてくれる人		—	災害時の人とのつながりを把握するため
市	問7-10 反対に、災害時にあなたが助けてあげる人		—	災害時の人とのつながりを把握するため

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
<b>問8. あなたの幸福度</b>				
必	問8-1 あなたは、現在どの程度幸せですか	(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください)	成果指標	—
<b>問9. 認知症について</b>				
必	問9-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか	1. はい 2. いいえ	—	—
市	問9-2 家族以外で身近に認知症の症状がある人がいますか	1. はい 2. いいえ	—	家族以外で身近に認知症の人がいるのかを把握するため
必	問9-3 認知症に関する相談窓口を知っていますか	1. はい 2. いいえ	成果指標 4	—
市	問9-4 認知症は誰もがなり得ると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	認知症や認知症の人に関する国民の基本的な知識や理解度を把握するため
市	問9-5 認知症になったら何もわからなくなると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解について現状を把握するため
市	問9-6 認知症になったら何もできなくなると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解について現状を把握するため
市	問9-7 あなたの周りの人は、「認知症」に関して正しく理解していると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解について現状を把握するため
市	問9-8 あなたが暮らす地域では、地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 2	認知症の人の意思が尊重されているのか現状を把握するため
市	問9-9 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良くと思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 2 成果指標 5	—

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
市	問9-10 あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせ ると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 3	認知症の人が自分らしく暮 らせると考えている人の割 合を把握するため
市	問9-11 自分が認知症になったら、周りの人に助けてもらいながら 自宅での生活を続けたいと思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 3	—
市	問9-12 家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知 人などにも知っておいてほしいと思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 3	—
市	問9-13 認知症の人が困っていたら、迷わず手を貸せるとします か	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解に基 づく振る舞いの状況を把握 するため
市	問9-14 認知症の人と喜びや楽しみを分かち合えると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解に基 づく振る舞いの状況を把握 するため
市	問9-15 認知症の人とちゅうちょなく話せるとしますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解に基 づく振る舞いの状況を把握 するため
市	問9-16 認知症の人とは、できる限り関わりたくないと思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解に基 づく振る舞いの状況を把握 するため
<b>問10. 成年後見制度について</b>				
市	問10-1 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか ※成年後見制度とは、認知症や精神上の障がいなどによっ て判断能力が十分ではない方(本人)の財産管理や施設入 所・入院といった契約などの手続きを後見人が支援する制 度です。	1. 名称だけではなく、制度の内容も詳しく知っている 2. 名称は知っているが、制度の内容は詳しく知らない 3. 名称のみ知っている 4. 知らない	—	成年後見制度の認知度を把 握するため
市	問10-2 将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成 年後見制度を利用したいと思いますか	1. 利用したいと思う 2. 利用したいとは思わない 3. わからない	—	将来的な成年後見制度の利 用意向を把握するため

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
<b>問11. 在宅医療について</b>				
市	問11-1 あなたは、「在宅医療」について知っていますか ※在宅医療とは、病院や診療所に行かずに、自宅で医師や看護師が診察や治療を行うことです。	1. 知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない	—	—
市	問11-2 あなたは、病院や診療所に行くことが難しくなったらご自宅で医療を受けたいですか	1. 受けたい 2. 受けたくない 3. わからない	—	在宅医療の利用意向を把握するため
市	問11-3 あなたには、健康状態や病気のことだけでなく、日常生活の困りごとを気軽に相談できる医師はいますか	1. いる 2. いない 3. 受診していない	—	—
市	問11-4 あなたには、歯の状態を診てもらっただけでなく、日常生活の困りごとを気軽に相談できる歯科医師はいますか	1. いる 2. いない 3. 受診していない	—	—
市	問11-5 あなたには、薬のことだけでなく、日常生活の困りごとを気軽に相談できる薬剤師(薬局)はいますか	1. いる 2. いない	—	—
市	問11-6 あなたは、病気などで死期が迫っている状態になったとき、自宅(親族の家も含む)で最期まで過ごすことを希望しますか	1. 希望するし、実現できると思う 2. 希望するが、実現は難しいと思う 3. 希望しない 4. わからない 5. その他( )	成果指標8	—
市	問11-7 【問11-6で「2. 希望するが、実現は難しいと思う」「3. 希望しない」の方のみ】 あなたが、自宅で過ごすことを希望しない、または過ごすことが難しいと思う理由をお教えてください(いくつでも)	1. 介護してくれる家族がいない 2. 家族に負担がかかる 3. 病院に入院したり介護施設に入ったほうが安心できる(容態が急変した時の対応に不安がある) 4. 経済的に負担が大きい 5. 往診してくれる医師がいない 6. 訪問看護・介護体制が整っていない 7. 居住環境が整っていない(手すりの設置、介護が必要な状態でも利用できるトイレやお風呂等) 8. 相談にのってくれるところがない 9. その他( )	—	—
市	問11-8 【問11-6で「3. 希望しない」の方のみ】 どこで最期まで過ごすことを希望しますか	1. 病院 2. ホスピス・緩和ケア病棟 3. 老人ホームなどの福祉施設 4. 高齢者向けのケア付き集合住宅 5. わからない	—	—
市	問11-9 もしものときのために、あなたが望む医療やケア等について、誰かと話し合いをしていますか	1. していない 2. 話し合いをしているが、記録を残していない 3. 話し合い、結果を文書などに記載した	—	—



## 国の調査概要

保健・福祉等実態調査は、国が示したのではなく、本市独自の調査となっています。

## 市としての考え方の方向性

### ■ 調査（設問設定）のねらい

- ① 2040年問題を見据え、多くが65歳以上となる調査対象者の地域での活動や社会的なつながりの状況を調査し、この世代の考え方や周りの人とのつながりに対する意識を把握することで、今後の施策を考える上での基礎資料とする。
- ② 国が定めた認知症施策推進基本計画では、認知症の人の声を起点とし、認知症の人の視点に立って、認知症の人や家族等と共に施策を推進することが期待されている。  
今回の調査においては、基本計画に掲げられている3つの重点目標に即し、現状を把握し、今後の施策を考える上での基礎資料とする。

### ■ 調査対象者

40歳から64歳で要支援・要介護認定を受けていない人

### ■ 対象者数

2,100件（150件×14圏域）

### ■ 調査票の送付・回答方法

郵送配布 / 郵送回答 または オンライン回答

### ■ 調査時期

令和7年11月から令和8年1月頃（予定）

## 保健・福祉等実態調査項目（案）

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
—	記入日	令和 年 月 日	—	—
—	調査票を記入されたのはどなたですか	1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入 （あて名のご本人からみた続柄： ） 3. その他	—	—
<b>問1 あなたのご家族や生活状況について</b>				
市	問1-1 あなたの性別をお教えてください	1. 男性 2. 女性 3. 回答なし	—	—
市	問1-2 あなたの年齢をお教えてください	1. 40～44歳 2. 45～49歳 3. 50～54歳 4. 55～59歳 5. 60～64歳	—	—
必	問1-3 家族構成をお教えてください	1. 単身（一人暮らし）世帯 2. あなたと配偶者のみの世帯（夫婦世帯） 3. あなた（と配偶者）と子の二世帯世帯 4. あなた（と配偶者）と親の二世帯世帯 5. あなた（と配偶者）と親と子の三世帯世帯 6. あなた（と配偶者）と子と孫の三世帯世帯 7. その他	—	—
市	問1-4 【問1-3において、2人以上で暮らしている方のみ】 あなたの世帯には65歳以上の方はいますか	1. いる 2. いない	—	—
必	問1-5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）	—	—
市	問1-6 あなたの主な仕事（職業）をお教えてください	1. 自営業・自由業・農業 2. 会社員・公務員などの勤め人（派遣社員を含む） 3. パート・アルバイト 4. 家事専業（主婦、主夫） 5. 無職 6. その他（ ）	—	—
必	問1-7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある	—	—

補足：本調査は、介護予防・日常生活圏域二ーズ調査に関連して行う市独自の調査のため、区分及び位置付けは参考記載となります。

区分凡例（参考）：国必須項目…必、国オプション項目…オ、市独自項目…市

位置付け凡例：すこやかプラン・川越の成果指標…成果指標、  
国の認知症施策推進基本計画の重点目標…国目標

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
<b>問2. 健康について</b>				
必	問2-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	成果指標 2	—
市	問2-2 あなたは今までに、職場や医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか	1. 1年以内に受けた 2. 1年～4年前に受けた 3. 4年以上前に受けた 4. 受けていない	—	—
必	問2-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ	—	—
必	問2-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ	—	—
市	問2-5 最近2週間の様子について教えてください（それぞれ1つを選択）		—	最近2週間の精神的健康状態を把握するため（WHO-5）
	①明るく、楽しい気分でも過ごした	1. いつもそうだった		
	②落ち着いたリラックスした気分でも過ごした	2. そういう時が多かった		
	③意欲的で活動的に過ごした	3. そういう時は少なかった		
	④ぐっすり休め、気持ちよくめざめた	4. まったくなかった		
⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった				
必	問2-6 タバコは吸っていますか	1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない	—	—

補足：本調査は、介護予防・日常生活圏域二重調査に関連して行う市独自の調査のため、区分及び位置付けは参考記載となります。

区分凡例（参考）：国必須項目…必、国オプション項目…オ、市独自項目…市

位置付け凡例：すこやかプラン・川越の成果指標…成果指標、  
国の認知症施策推進基本計画の重点目標…国目標

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
必	問2-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつかでも)	1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他( )	—	—

補足：本調査は、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査に関連して行う市独自の調査のため、区分及び位置付けは参考記載となります。

区分凡例(参考)：国必須項目…必、国オプション項目…オ、市独自項目…市

位置付け凡例：すこやかプラン・川越の成果指標…成果指標、  
国の認知症施策推進基本計画の重点目標…国目標

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
<b>問3. 地域での活動について</b>				
必	問3-1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか (それぞれ1つを選択)		-	-
	①ボランティアのグループ	1. 週4回以上 2. 週2~3回 3. 週1回 4. 月1~3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
	②スポーツ関係のグループやクラブ			
	③趣味関係のグループ			
	④学習・教養サークル			
	⑤介護予防のための通いの場 (いもっこ体操などの体操やサロンなど)			
	⑥老人クラブ			
	⑦町内会・自治会			
⑧収入のある仕事				
市	問3-2 【問3-1の①から⑧で、「1. 週4回以上」から「5. 年に数回」に○をつけた方のみ】 会・グループ等の情報をどのような方法で取得していますか (いくつでも)	1. インターネット (Web検索、SNSなど) 2. テレビ、ラジオ 3. 新聞 (デジタル版を含む) 4. 市ホームページ 5. 広報川越 6. スーパーマーケットなどの店舗にある掲示板 7. 友人や家族からの口コミ 8. その他 ( )	-	どの情報源から情報を得ているのかを把握するため
必	問3-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している	-	-
市	問3-4 【問3-3で「1. 是非参加したい」または「2. 参加してもよい」の方のみ】 今後、社会参加したい活動はありますか (いくつでも)	1. 健康づくり・スポーツ・運動などの活動 2. 1以外の趣味を通じたサークル活動 3. 地域行事 (催し物や祭りなど) 4. 地域づくり・街づくり活動 (町内会、老人会など) 5. ひとり暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動 6. 地域の伝統や文化を伝える活動 7. 子育て支援活動 (こども食堂の支援など) 8. その他 ( ) 9. 特にない	-	-
必	問3-5 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたいと思いますか	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している	-	-

補足：本調査は、介護予防・日常生活圏域二重調査に関連して行う市独自の調査のため、区分及び位置付けは参考記載となります。

区分凡例 (参考)：国必須項目…必、国オプション項目…オ、市独自項目…市

位置付け凡例：すこやかプラン・川越の成果指標…成果指標、  
国の認知症施策推進基本計画の重点目標…国目標

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
<b>問4. 社会的なつながりやたすけあいについて</b>				
市	問4-1 あなたは、地域内のご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか	1. たがいに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人もいる 2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいは、している 3. あいさつ程度の最小限のつきあい 4. まったくしていない	—	—
市	問4-2 家族や親戚についてお教えてください (それぞれ1つを選択)		—	家族や親戚とのつながりを把握するため
	①少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする家族や親戚は何人いますか	1. いない 2. 1人 3. 2人 4. 3～4人 5. 5～8人 6. 9人以上		
	②個人的なことでも話すことができるくらい気楽に感じられる家族や親戚は何人いますか			
市	問4-3 友人関係についてお教えてください (それぞれ1つを選択)		—	友人とのつながりを把握するため
	①少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする友人や知人は何人いますか	1. いない 2. 1人 3. 2人 4. 3～4人 5. 5～8人 6. 9人以上		
	②個人的なことでも話すことができるくらい気楽に感じられる友人や知人は何人いますか			
必	問4-4 どなたかと食事をとる機会がありますか	1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	—	—
市	問4-5 家族以外の地域の人を頼ることに抵抗はありますか	1. 強い抵抗がある 2. やや抵抗がある 3. あまり抵抗がない 4. まったく抵抗がない	成果指標 6	—
市	問4-6 反対に、家族以外の地域の人から頼りにされることに抵抗はありますか	1. 強い抵抗がある 2. やや抵抗がある 3. あまり抵抗がない 4. まったく抵抗がない	成果指標 7	—

補足：本調査は、介護予防・日常生活圏域二重調査に関連して行う市独自の調査のため、区分及び位置付けは参考記載となります。

区分凡例(参考)：国必須項目…必、国オプション項目…オ、市独自項目…市

位置付け凡例：すこやかプラン・川越の成果指標…成果指標、  
国の認知症施策推進基本計画の重点目標…国目標

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
	【問4-7から問4-10について当てはまる番号に○をつけてください(いくつでも)】		—	—
必	問4-7 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他( ) 8. そのような人はいない	—	—
必	問4-8 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人		—	—
市	問4-9 災害時にあなたを助けてくれる人		—	災害時の人とのつながりを把握するため
市	問4-10 反対に、災害時にあなたが助けてあげる人		—	災害時の人とのつながりを把握するため
<b>問5. あなたの幸福度</b>				
必	問5-1 あなたは、現在どの程度幸せですか	(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください)	成果指標	—
<b>問6. 認知症について</b>				
必	問6-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか	1. はい 2. いいえ	—	—
市	問6-2 家族以外で身近に認知症の症状がある人がいますか	1. はい 2. いいえ	—	家族以外で身近に認知症の人がいるのかを把握するため
必	問6-3 認知症に関する相談窓口を知っていますか	1. はい 2. いいえ	成果指標 4	—
市	問6-4 認知症は誰もがなり得ると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	認知症や認知症の人に関する国民の基本的な知識や理解度を把握するため
市	問6-5 認知症になったら何もわからなくなると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解について現状を把握するため
市	問6-6 認知症になったら何もできなくなると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解について現状を把握するため

補足：本調査は、介護予防・日常生活圏域二重調査に関連して行う市独自の調査のため、区分及び位置付けは参考記載となります。

区分凡例(参考)：国必須項目…必、国オプション項目…オ、市独自項目…市

位置付け凡例：すこやかプラン・川越の成果指標…成果指標、  
国の認知症施策推進基本計画の重点目標…国目標

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
市	問6-7 あなたの周りの人は、「認知症」に関して正しく理解していると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解について現状を把握するため
市	問6-8 あなたが暮らす地域では、地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 2	認知症の人の意思が尊重されているのか現状を把握するため
市	問6-9 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 2 成果指標 5	—
市	問6-10 あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 3	認知症の人が自分らしく暮らせると考えている人の割合を把握するため
市	問6-11 自分が認知症になったら、周りの人に助けてもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 3	—
市	問6-12 家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 3	—
市	問6-13 認知症の人が困っていたら、迷わず手を貸せると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解に基づく振る舞いの状況を把握するため
市	問6-14 認知症の人と喜びや楽しみを分かち合えると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解に基づく振る舞いの状況を把握するため
市	問6-15 認知症の人とちゅうちょなく話せると思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解に基づく振る舞いの状況を把握するため
市	問6-16 認知症の人とは、できる限り関わりたくないと思いますか	1. 思う 2. どちらかと思う 3. どちらかと思わない 4. 思わない	国目標 1	新しい認知症観の理解に基づく振る舞いの状況を把握するため

補足：本調査は、介護予防・日常生活圏域二重調査に関連して行う市独自の調査のため、区分及び位置付けは参考記載となります。

区分凡例(参考)：国必須項目…必、国オプション項目…オ、市独自項目…市

位置付け凡例：すこやかプラン・川越の成果指標…成果指標、  
国の認知症施策推進基本計画の重点目標…国目標

区分	設問	選択肢等	位置付け	設問の意図(新設)
<b>問7. 成年後見制度について</b>				
市	問7-1 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか ※成年後見制度とは、認知症や精神上的の障がいなどによって判断能力が十分ではない方(本人)の財産管理や施設入所・入院といった契約などの手続きを後見人が支援する制度です。	1. 名称だけではなく、制度の内容も詳しく知っている 2. 名称は知っているが、制度の内容は詳しく知らなかった 3. 名称のみ知っている 4. 知らなかった	—	成年後見制度の認知度を把握するため
市	問7-2 将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか	1. 利用したいと思う 2. 利用したいとは思わない 3. わからない	—	将来的な成年後見制度の利用意向を把握するため
<b>問8. 在宅医療について</b>				
市	問8-1 あなたは、「在宅医療」について知っていますか ※在宅医療とは、病院や診療所に行かずに、自宅で医師や看護師が診察や治療を行うことです。	1. 知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない	—	—
市	問8-2 もしものときのために、あなたが望む医療やケア等について、誰かと話し合いをしていますか	1. していない 2. 話し合いをしているが、記録を残していない 3. 話し合い、結果を文書などに記載した	—	—
<b>問9. 地域包括支援センターについて</b>				
市	問9-1 あなたは、高齢者の身近な相談窓口である「地域包括支援センター」を知っていますか	1. 利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない	—	—

補足：本調査は、介護予防・日常生活圏域二ーズ調査に関連して行う市独自の調査のため、区分及び位置付けは参考記載となります。

区分凡例(参考)：国必須項目…必、国オプション項目…オ、市独自項目…市

位置付け凡例：すこやかプラン・川越の成果指標…成果指標、  
国の認知症施策推進基本計画の重点目標…国目標

## 第10期計画策定に向けた審議会スケジュール(案)

報告事項及び議事等	国の動向
第5回 R7.8.19 ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ・保健・福祉等実態調査(40～64歳) ・第10期計画策定までのスケジュール(案)	【介護保険部会 ※1】 介護保険制度の見直しに関する意見 (前回は令和4年12月公表)
第6回 R8.2.10 ・川越市高齢者等実態調査の結果 ※国から基本指針(案)が発出されている場合は概要説明	【介護保険部会】 記載を充実する事項(案) 基本指針の構成 (前回は令和5年2月公表)
第7回 R8.5 ・諮問 ・第9期計画(令和7年度)の進捗状況 ・国からの基本指針(案) ・第10期計画の施策体系 ・施策の柱「生活支援」 ・施策の柱「認知症施策」	【担当課長会議 ※2】 第10期計画に関する基本的な考え方 【医療介護総合確保促進会議】 総合確保方針 (前回は令和5年3月公表)
第8回 R8.7 ・施策の柱「健康づくりの推進(介護予防)」 ・施策の柱「医療・介護連携」	【介護保険部会、担当課長会議】 基本指針(案) (前回は令和5年7月公表)
第9回 R8.8 ・施策の柱「介護人材の確保(提供体制)」 ・第10期計画の介護サービス基盤整備 (在宅サービス、居住系サービス、施設系サービス)	
第10回 R8.9 ・地域づくりと災害 ・全体の施策の柱の振り返り ・第10期計画(素案)	
第11回 R8.10 ・第10期計画(原案)	
第12回 R8.11 ・第10期計画(原案) ・介護サービスの見込量及び保険料(概算)	
第13回 R9.1 ・第10期計画(最終案) ・介護サービスの見込量及び保険料(概算)の変更点 ・パブリック・コメントの結果 ・答申(案)	基本指針の公表 (前回は令和6年1月公表)

※1 . . . 社会保障審議会介護保険部会

※2 . . . 全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議